

## 第 363 回狛江市行財政改革推進本部会議会議録

- 1 日 時 令和 2 年 3 月 24 日（火）午前 9 時 1 分～9 時 5 分
- 2 場 所 市長公室
- 3 出席者 本部長 松原市長 副本部長 平林副市長  
副本部長 有馬教育長 本部員 石森参与兼児童青少年部長  
本部員 高橋企画財政部長 本部員 石橋総務部長  
本部員 浅見福祉保健部長 本部員 鈴木市民生活部長  
本部員 清水環境部長 本部員 小俣都市建設部長  
本部員 小川議会事務局長 本部員 上田教育部長  
事務局 田部井政策室長 西村企画調整担当主任

### 4 欠席者

- 5 議 題 1. 狛江市定員適正化計画（案）について  
2. その他

### 6 会議概要

本部長 それでは、議題 1「狛江市定員適正化計画（案）について」説明をお願いします。

事務局 3 月 17 日の行財政改革推進本部会議後からの主な修正点について説明する。  
6 ページの正規職員数及び組織の推移だが、前計画で予定していた取組と実際の結果について追記している。前計画に沿って職員数の見直しを行ってきたが、前計画の策定以降に生じた新たな行政課題にも機動的に対応してきた旨を追記している。

次に、8 ページの人件費及び職員給等の推移だが、類似団体との比較として、狛江市は職員給の経常収支比率等が低い状況にあること等を追記している。

次に、11・12 ページの類似団体との比較だが、前計画からの成果として、平成 26 年度との比較を追記している。その結果として、超過している民生部門について、平成 26 年度から大きく低下し、平均と近い値となったことを示している。

次に、18・19 ページの定員適正化のための主な取組だが、現状と課題を踏まえ、定員の適正化に向けて、必要な部署に必要な人員を配置していく必要があること、しかしながら、財政的な側面にも目を向けていく必要があること、そのため、必要な人員配置を確保するために民間委託や最新技術の積極的な活用等を図ることで、持続可能な組織体制の構築を目指していくこと等を追記し、本計画の考え方や目指す方向性を示すこととしている。また、民間活力の活用の項目において、待機児対策推進本部からの報告に基づき、学童クラブの民営

化についても言及している。

最後に、定員の推移だが、一般事務の会計年度任用職員について、学校教育課の定員を増としていたが、令和2年度に加配にて配置するため、新たな増はせず、現在の人数を維持する目標とさせていただいた。なお、各部署の現状の定員について、教育部の正規職員の定員を1増、環境部の会計年度任用職員の定員を1増と修正させていただいた。

本行財政改革推進本部会議で了承後、庁議にて改めて御審議いただきたい。  
本部長 特に意見等がなければ、行財政改革推進本部会議として了承することとし、第363回狛江市行財政改革推進本部会議を終了する。